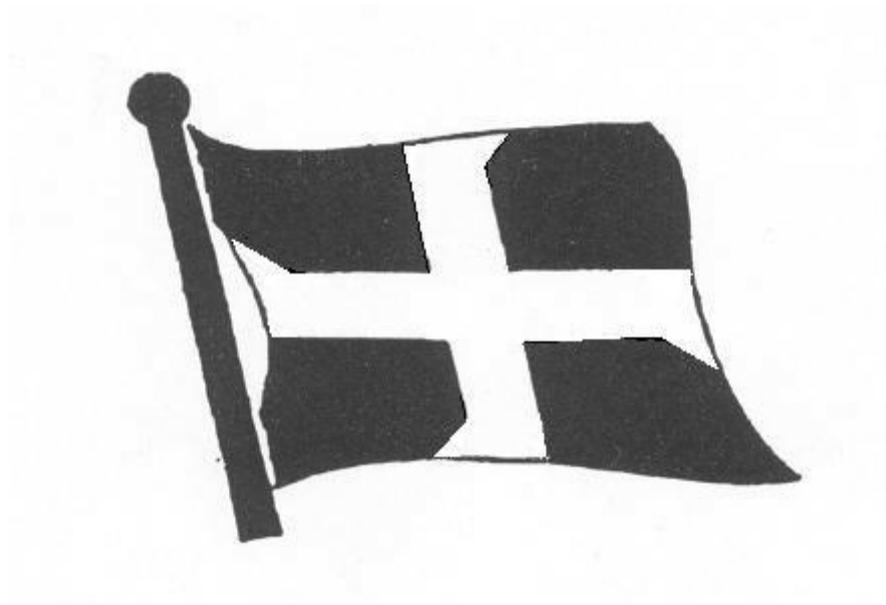


蒼穹 NEWS

No.3

伊勢予選総括号

令和4(2022)年 7月1日発行



－目次－

- 1,主将挨拶・監督挨拶・長距離パートチーフ挨拶 P.3
- 2,伊勢予選結果・総括 P.5
- 3,新入部員名簿 P.9
- 4,記録会等の結果 P.10
- 5,その他ご報告 P.12

1, 主将挨拶・監督挨拶・長距離パートチーフ挨拶

《主将挨拶》

6月19日、全日本大学駅伝の関西地区予選が西京極にて行われました。目標は三大駅伝出場、すなわち総合4位以内としていましたが、4位の関西大学との差が8分50秒、6位の京都産業大学との差が6分5秒という目標との差が大きく出た昨年と同じ総合7位という結果に終わりました。

昨年チームを引っ張り続けた長距離パートが、今年こそは伊勢予選突破という強い思いを持って臨みました。しかし、関西インカレに続いて関西の上位校との力の差を感じる試合になりました。京大の上位陣は関西のトップレベルと戦えることを今回も証明することができましたが、チームの中間層の力が足りていない今のチームの現状がはっきりと出ていました。今年の伊勢予選は例年以上に長距離がチーム全体を巻き込んで、全員で戦う試合にすることができましたが、それでも目標達成とはなりません。チームとしての力、個人の実力など関西の上位と戦って勝つにはまだまだ足りないものだらけだと思い知らされました。チームの底上げをはじめとして、全員で戦えるように努力を重ねていきます。

次の対校戦は七大戦です。目標は男女総合優勝です。厳しい戦いが予想されていますが、七大戦は良くも悪くもチームの流れが大きな意味を持ちます。全員が自分の力でチームを勝たせるという意気込みで準備していきます。全員で目標を達成できるように本気になって戦っていきます。

最後になりましたが、蒼穹会の皆様には様々な制限の中で熱いご声援をくださり誠にありがとうございます。今後とも変わらぬご支援ご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 眞鍋 聡志

《監督挨拶》

たけびしスタジアム京都にて全日本駅伝、出雲駅伝の座をかけて10人の選手が10000mを走りましたが、今年も関西の壁を大きく感じる結果となりました。

1組目でスローペースとなり、実力のある上位大学が軒並みタイムを出せていないことからアドバンテージがあったものの、2組目以降で大きく突き放された展開となりました。長距離パートの層の薄さが敗因と考えています。走った選手のうち2人が中距離選手、8人が院生であり、長距離の学部生が大きく成長できるような環境作りが必要だと感じております。長距離チームとして全国の舞台で駅伝を走るためには、多くの選手が関西インカレ標準のレベルの実力をつけ、関西駅伝で来年のシード権を獲得することが最低条件だと考えております。もう一度全国の舞台に返り咲くためにより一層精進して参ります。

最後になりますが、このような状況下で当試合の開催に尽力して下さった関係者の皆様、誠にありがとうございました。また、厚いご支援ご声援を下さった蒼穹会の方々には心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援ご声援のほどよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部監督 長谷川 隼

《長距離パートチーフ挨拶》

平素より京都大学陸上競技部をご支援いただき、誠にありがとうございます。

先日行われました全日本大学駅伝関西学連出場大学選考会において、京都大学は4時間16分24秒93で総合7位でした。目標としていた4位には8分50秒ほどの差があり惨敗という厳しい結果でした。

この大会が全日本大学駅伝や出雲駅伝といった全国大会につながる選考会である以上、それらの大会への出場を目指してこそ意味があると考え、4位以上という目標を掲げ励んできました。ただ結果はご覧の通りで、他大学に比して目標達成のために十分な取り組みができなかったという一言に尽きます。そしてここに向かうまでの過程で、より明確な道筋を示し、他大学の選手と渡り合うのに十分な力をつけられるよう導けなかったのは何より私の力不足以外の何物でもありません。

目を転じてみれば、6位の京都産業大学にも6分以上の差をつけられています。昨年の本選考会でも京都大学は7位でしたが、6位との差は1分30秒ほどであったことを考えればこの1年で他大学に大きく後れを取っていることがわかります。伊勢予選を突破するためにはシードを守ることが大きな意味を持ち、そのためには来る11月の関西学生駅伝で6位以内に入る必要があります。この6位との差をあと5か月で埋めることは並大抵のことではありません。そのことを強く自覚したうえで、今大会への出走如何を問わず全メンバーがこの結果に至った過程に謙虚に向き合い、今後の取り組みに活かしていかなければなりません。

最後になりますが、ご多忙の中現地に駆けつけてくださった方々、結果を心待ちにしてくださった方々に、厚く御礼申し上げます。今後も七大戦・東大戦、そして関西学生駅伝と大きな対校戦が続いていきます。選手一同精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部長距離パートチーフ 高橋 侃凱

2,伊勢予選結果・総括

秩父宮賜杯 第54回全日本大学駅伝対校選手権大会 関西学連出場大学選考競技会

2022年6月19日(日)

たけびしスタジアム京都

総合成績

大阪経済大	4:06:01.35
関西学院大	4:06:19.07
立命館大	4:06:55.68
関西大	4:07:35.24
びわこ学院大	4:09:39.20
京都産業大	4:10:19.77
京都大	4:16:24.93
同志社大	4:20:47.15
大阪大	4:22:34.38
龍谷大	4:24:19.19
神戸学院大	4:26:54.41
近畿大	4:28:11.38

※総合成績上位3チームが全日本大学駅伝、4チームが出雲駅伝に出場する。

男子10000m 第1組結果

1	小久保 星音 (3)	びわこ学院大	31:50.80
2	伊藤 仁 (3)	関西大	31:54.49
3	田中 優樹 (3)	関西学院大	31:58.05
4	松尾 侑介 (4)	関西学院大	32:00.07
5	楠本 拓真 (4)	大阪経済大	32:02.70
13	江端 康汰 (3)	京都大	32:45.61
18	潮崎 羽 (M2)	京都大	33:07.63

男子10000m 第2組結果

1	片山 蓮 (4)	大阪経済大	30:34.54
2	兵頭 拓真 (2)	びわこ学院大	30:53.28
3	佐藤 良祐 (3)	立命館大	30:58.61
4	松嶋 陸 (4)	関西学院大	31:14.40
5	寺谷 壮汰 (2)	大阪経済大	31:19.10
20	木村 佑 (M2)	京都大	33:23.88
21	安本 元虎 (M1)	京都大	33:39.11
28	宍倉 隆浩 (2)	京都大	34:21.17

男子10000m 第3組結果

1	守屋 和希 (3)	関西学院大	29:46.89
2	山田 真生 (4)	立命館大	30:17.85
3	佐々木 凜太郎 (4)	大阪経済大	30:42.15
4	坂本 智基 (3)	大阪経済大	30:46.05
5	今井 由伸 (4)	関西学院大	30:46.61
13	清原 陸 (M2)	京都大	31:38.83
22	津吉 順平 (M2)	京都大	33:15.12

男子10000m 第4組結果

1	亀田 仁一路 (3)	大阪経済大	29:16.74
2	大森 駿斗 (2)	びわこ学院大	29:48.71
3	島野 和志 (3)	立命館大	29:57.63
4	大高 肇 (4)	関西学院大	30:05.01
5	上田 颯汰 (4)	大阪経済大	30:05.92
9	鈴木 洋太郎 (M1)	京都大	30:12.07
19	柴田 栗佑 (M1)	京都大	30:57.65
21	足立 舜 (M1)	京都大	31:04.14

男子10000m

第1組

江端 康汰 (3) 32:45.61 13 着

潮崎 羽 (M2) 33:07.63 18 着



ラストイヤーの気迫でチームの雰囲気を作った潮崎(M2)

1組には潮崎(M2)、江端(3)が出場した。序盤からスローペースで、京大2人を含む先頭集団20人ほどが牽制しあいながらレースを進めた。江端は先頭集団後方に付いてレースを進め、途中先頭が入れ替わりペースが上下するも、冷静に対応した。潮崎は5000mほどで集団から離れ始め、苦しそうな表情を見せながらも6000mほどで先頭集団に復帰する。



単独走になってからも粘りある走りを維持した江端(2)

7000m過ぎで関西学院大学の選手が仕掛けて集団がばらけた。江端は先頭集団から離されたが1人でペースを刻み、目標達成のライバルとなる京都産業大学の選手2人に先着した。潮崎は7000m過ぎのペースアップで集団から離され、ペースを上げられないままフィニッシュ。スローな展開で目標タイムの

達成は厳しかったものの、江端は一人になってからも粘り強い走りを見せ、潮崎は伊勢予選ラストイヤーにかかる思いや気迫が感じられるレースであった。(稲田,照山,斎藤)

第2組

木村 佑 (M2) 33:23.88 20 着

安本 元虎 (M1) 33:39.11 21 着

穴倉 隆浩 (2) 34:21.17 28 着



積極的にレースを展開した安本(M1)

第2組には、京都大学から木村(M2)、安本(M1)穴倉(2)が出走した。穴倉は大学で2回目、木村は大学初、安本は自身初の10000mであった。スタートして木村、安本を含む大きな集団でレースは進んだ。



関カレ後、急ピッチで伊勢予選の調整を纏め上げた木村(M2)

穴倉はスタート時から集団を離れ、4人ほどの小さな集団で自分のペースを刻んだ。1000m~2000mで先頭集団のペースが3'05/kmまで上がったことから木村は2000m過ぎで集団から離れそこからは

ずっと単独走となった。安本も 3000m 過ぎで集団から離れ、単独走となった。木村は 5000m まで少しずつペースは落ちていたものの持ち前の安定したラップで回っていたが、後半 5000m は足が止まってしまった。ラスト 1km は中距離らしいスピードで気合いの追い込みを見せた。安本は単独走となった後、後半に向かうにつれて耐えきれずペースを落としてしまったが、最後まで粘りの走りでレースを終えた。宍倉は自分のペースで刻もうとするも、なかなかスピードが上がらず苦しい走りとなってしまった。結果として、木村が 20 着 33' 23"88、安本が 21 着 33' 39"11、宍倉が 34' 21"17 であった。全員が目標としているタイム、順位には及ばず、悔しい結果となった。(小井)



学部生の意地をかけて10000mを走り抜いた宍倉(2)

第 3 組

清原 陸 (M2) 31:38.83 13着

津吉 順平 (M2) 33:15.12 22 着



自身のペースを堅持し最大限の力を発揮した清原(M2)

3 組には津吉(M2)、清原(M2)が出場した。2 組目同様スタートと共に集団は縦長になり、先頭集団は実力ある立命大の山田を先頭に最初の 1km を 2 分 57 秒とハイペースで通過した。一方の清原、津吉は共に様子を伺いつつ先頭から 5 秒ほど遅れた中盤付近でレースを進めることとなる。その後、津吉は第 2 集団後方から、清原はそれから僅かに離れて自分のペースを刻むかたちで試合を運んでいくが、4000m を通過したあたりで少し津吉が苦しくなり第 2 集団に離されてしまう。一方、清原は自身のペースをほとんど崩すことなく中間地点となる 5000m を通過すると、その後、途中 1 人になるなど苦しくなる場面がありながらもなんとか耐え続け、13 着の 31'38"83 でゴールを迎えた。また津吉も中盤以降、常に苦しく厳しい時間が続いたなかで粘りをみせ、最後にはスパートもかけるなど 22 着の 33'15"12 でゴールした。結果は両選手とも目標としていたタイムに及ばないかたちとなってしまったが、蒸し暑い天候のなか二人の戦い続ける姿勢が感じられたレースであった。(小笹)



苦しい展開でもラストイヤーにかける思いをみせた津吉(M2)

第 4 組

鈴木 洋太郎 (M1) 30:12.07 9着

柴田 栗佑 (M1) 30:57.65 19着

足立 舜 (M1) 31:04.14 21着

4 組には足立(M1)、柴田(M1)、鈴木(M1)が

出場した。スタートから最初の1キロまでは大きな縦長の集団でレースが進んだ。その後は立命館、関西大学の選手ら4人が集団から抜けさし



終始ペースを崩さず自己ベストを更新した鈴木(M1)



得意のラストスパートで力を出し切った柴田(M1)

柴田と鈴木は第2集団で様子を伺った。足立は練習を順調に積めていなかったこともありやや後方

に位置し落ち着いたレース運びをした。柴田と鈴木は5000mを15分ちょうどくらいのタイムで通



苦しい状況の中で最大限やりきった足立(M1)

過した。その後、関西大学の選手が仕掛けたことで柴田はまもなく集団から離された。一方で鈴木は終始粘りの走りを見せ、集団にくらいつき9着30'12で自己ベストを更新した。足立は後半もペースを守って走り、落ちてきた柴田に追い付く。柴田は特に後半の5000mは苦しい走りになったがなんとか粘り、ラストは得意のラストスパートで力をふり絞った。結果、柴田が19着30'57、足立が21着31'04でゴールした。足立は現状の自分の状態や練習状況を考えると最低限まとめられたレースだったと振り返った。(梅原)

3, 新入生名簿

氏名	出身校(都道府県)	パート	種目	PB
青柳 佑	明和(愛知)	短長,ハードル	400m,400mH	49"81,54"87
石原 一真	守山(滋賀)	短短	100m,200m	10"94,22"23
石原 優花	横須賀(神奈川)	長距離	3000m,1500m	10'15"67,4'50"89
伊藤 寿真	五条(愛知)	長距離	1500m,5000m	4'23,16'55
稲田 正裕	宝塚北(兵庫)	長距離	5000m	15'34"40
岡田 雅也	甲陽(兵庫)	短短	—	—
奥村 究	彦根東(滋賀)	中距離	1500m,800m	4'11,1'58
小倉 唯愛	津山(岡山)	中距離	800m,400mH	2'18"77,1'04"25
川瀬 稔己	大垣北(岐阜)	短長	400m	55"00
小森 隆史	高津(大阪)	投擲	砲丸投	11m48
白星 祥吾	大分上野丘(大分)	中距離	5000m	17'56
新庄 健	広島なぎさ(広島)	短長,ハードル	400mH	55'75
齋藤 虹香	浜松西(静岡)	短短	100m,200m,400m	12'82,25'99,59'83
杉原 一牙	向陽(愛知)	中距離	800m,1500m	1'52"61,4'07
鈴木 奈々	神大附属(兵庫)	サポート	マネージャー	—
高橋 昂生	広島(広島)	短長	400mH,100m,走幅跳	52"23,10"74,7m41
田中 颯真	天王寺(大阪)	跳躍	走高跳	1m85
田淵 凌	水戸第一(茨城)	短短	100m,200m	11"08,22"67
千代田 圭吾	洛星(京都)	長距離	—	—
照山 潤	小倉(福岡)	長距離	5000m	15'50
中川 真由	刈谷(愛知)	サポート	マネージャー	—
橋本 慶太	川和(神奈川)	中距離	—	—
服部 来羅	堀川(京都)	長距離	5000m	15'22
平松 藍	大宮(埼玉)	短短	100m,200m	12"80,26"93
松井 和輝	生野(大阪)	跳躍	三段跳,走幅跳	14m57,6m21
吉富 文暁	天王寺(大阪)	跳躍	棒高跳,走高跳,三段跳	—,1m85,12m50

各部員紹介、また学部2回生以上および院生の新入部員の紹介は

京都大学陸上競技部ホームページからご覧になれます。

(<https://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>)

4,記録会等の結果

〈凡例〉

選手名	種別	順位	記録	風速	備考
-----	----	----	----	----	----

2022山城地方陸上競技大会(於太陽が丘)(5月21日)

▼男子

100m

芦田 開	予選		11.81	+1.4	
------	----	--	-------	------	--

400m

益田 椋多	予選		52.01		
宮園 隼人			54.12		
益田 椋多	決勝	優勝	52.68		
宮園 隼人		4位	54.01		

800m

須山 傑			2.05.12		
------	--	--	---------	--	--

1500m

服部 航大			4.19.78		大学初,自己新
-------	--	--	---------	--	---------

5000m

潮崎 羽		2位	15.43.59		
江端 康汰		4位	16.07.39		
尾原 翔		5位	16.12.52		
宮澤 知希		7位	16.35.10		自己新
三嶋 友貴			17.06.13		
斎藤 優成			17.06.50		

走幅跳

仲村 快太			6.85	+0.1	
中川 遥仁			6.32	-0.1	

走高跳

今西 直			NM		
------	--	--	----	--	--

第2回滋賀陸上競技協会記録会(於皇子山)(5月22日)

▼男子

100m

石原 一真			11.44	+0.9	大学初
-------	--	--	-------	------	-----

1500m

小井 稜真			4.09.77		大学新
-------	--	--	---------	--	-----

第99回関西学生陸上競技対校選手権大会(於西京極)(5月25-28日)

詳しくは先日発行いたしました蒼穹ニュース関西インカレ総括号をご覧ください。

令和4年度第3回大阪体育大学中長距離競技会(於大体大)(6月4日)

▼男子

800m

平山 悦章			1.57.88		
-------	--	--	---------	--	--

1500m

西川 光平			4.22.61		
-------	--	--	---------	--	--

3000mSC

服部 航大			10.10.13		自己新
松岡 健			10.56.77		自身初

令和4年度第2回大阪体育大学競技会(於大体大)(6月4, 5日)

▼男子

200m

藤浦 敦士			23.12	+0.2	
-------	--	--	-------	------	--

400m

藤浦 敦士			50.38		自己新
山田 大智			52.12		自己新

円盤投

眞鍋 聡志			38.54		
-------	--	--	-------	--	--

やり投

山野 陽集			55.68		
-------	--	--	-------	--	--

▼女子

七種競技

新保 歩			3849		[自己新] 16.03(3.1) 1.40 8.84 28.75(0.2) 4.46(0.7) 30.51 2.29.83
------	--	--	------	--	---

第38回東三河陸上競技選手権大会(於豊橋)(6月4, 5日)

▼男子

100m

前田 朝陽	予選		11.52	-2.4	
前田 朝陽	決勝	7位	11.51	-2.3	

200m

前田 朝陽	予選		22.96	-1.5	
前田 朝陽	決勝	6位	23.31	-4.6	

第38回U20日本陸上競技選手権大会(於ヤンマースタジアム長居)(6月9~12日)

▼男子

400mH

高橋 昂生	予選		52.23		大学初,自己新
-------	----	--	-------	--	---------

2021年度関西実業団陸上競技連盟記録会兼兵庫実業団記録会(於ベイコム)(6月19日)

▼男子

100m

藤浦 敦士			11.40	-0.4	自己新
長田 雅史			11.63	-1.6	

1500m

川口 修大			4.07.18		自己新
-------	--	--	---------	--	-----

走幅跳

坂本 璃月			5.72	+2.6	公認5.70(1.9)
-------	--	--	------	------	-------------

やり投

岡本 亜哲			33.14		
-------	--	--	-------	--	--

▼女子

100m

三好 紗椰			12.98	-2.7	
-------	--	--	-------	------	--

秩父宮賜杯第53回全日本大学駅伝対校選手権大会関西学連出場大学選考競技会

(於西京極)(6月19日)

詳しくは本誌をご覧ください。

以上 6 月 30 日現在

4,その他ご報告

・関西インカレを観戦いただいた OB・OG の方々の名簿を以下に掲載いたします。お暑いなかご足労いただきありがとうございました。また、ご足労いただいたにもかかわらずお名前を頂戴していない方にはこの場を借りておわび申し上げます。

S.41 森本正幸
H.27 寶 雄也
H.27 下迫田 啓太
H.28 稲垣 達也
H.29 足立 大宜
H.29 柴田 裕平
H.30 谷口 博紀
R.1 亀田 孝太郎
R.1 大前 晃一
R.1 清水 裕美
R.3 吉村 柊太
R.3 清水 厚佑
R.3 鶴見 薫樹

(卒部年度順、敬省略)



蒼穹ニュース 令和4年度 第3号
令和4年 7月1日発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部
編集者:紀之定玲司・平山悦章・益田椋多(副務)
特別協力:高重広・平林里和子・高山兼輔(学連員)
写真担当:五十嵐聖・松本良平・三嶋友貴(写真係)

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス hiryama.yoshiaki.33c@st.kyoto-u.ac.jp (平山)